

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 慶應義塾  
理事長 清 家

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	76
--------	----

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	652人	64人	668.2人	看護業務補助者	98人	診 療 X 線 技 師	0人	
歯 科 医 師	23人	8人	24.9人	理 学 療 法 士	12人	臨 床 検 査	臨 床 検 査 技 師	136人
薬 剤 師	92人	27人	110.4人	作 業 療 法 士	4人		衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	14人		そ の 他	0人
助 産 師	30人	1人	30.2人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧士	0人	
看 護 師	966人	13人	974.6人	臨 床 工 学 技 士	22人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	3人	
准 看 護 師	8人	0人	8人	栄 養 士	14人	そ の 他 の 技 術 員	88人	
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	238人	
管 理 栄 養 士	25人	0人	25人	診 療 放 射 線 技 師	65人	そ の 他 の 職 員	11人	

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、少数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄にはそれぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者数及びが外来患者数の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	909人	8人	917 人
1日当たり平均外来患者数	2,957人	183人	3,140 人
1日当たり平均調剤数	5,502剤		

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮筋腫核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例にかかわるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	16人
・顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病・悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドライブ法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋硬直性又は筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cに胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断(特発性低身長に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんにかかるものに限る)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパーージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊椎小脳変性症、球脊椎性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損、(角膜移植によるものを含む。)角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒痕、眼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒痕その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	6人
・重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
・神経芽腫のDNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
・骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリンノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。)による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがいないために造血肝細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するYag-LaserによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断(水泡型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水泡症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
・隆起性製皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血管細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。)に係るものに限る。)	有・無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるものに限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症にあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。)のちに、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節にかかわるものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎にかかわるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性高インシュリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損にかかわるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、管内胆肝がん、転移性肝がん、又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗体ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	35人
・先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))	有・ <input type="radio"/> 無	人
・フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療ができないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例にかかわるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例にかかわるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗GFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGRF陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百十六号)の「(1)疾病、障害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類を言う。)においてF2(総合失調症、総合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾患及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつの症状の者(器質的疾患に起因するうつの症状のものを除く。)に係るものに限る。))	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレンジによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺種(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	81 人
・カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性繊維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0 人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	
・腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	
・根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1. 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2. 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	36人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	18人
・多発性硬化症	44人	・ウェグナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	56人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	52人
・全身性エリテマトーデス	105人	・多系統萎縮病	4人
・スモン	4人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	10人
・再生不良性貧血	63人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	48人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	31人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	43人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	47人	・特発性大腿骨頭壊死症	13人
・結節性動脈周囲炎	7人	・混合性結合組織病	18人
・潰瘍性大腸炎	366人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	11人	・特発性間質性肺炎	2人
・ビュルガー病	2人	・網膜色素変性症	71人
・天疱瘡	6人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	44人	・原発性肺高血圧症	17人
・クローン病	119人	・神経線維腫症	5人
・難治性肝炎のうち劇症肝炎	7人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	235人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	69人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	中央臨床検査部は週2回程度、病理診断部は年間約100回	
剖検の状況	剖検症例数	71例
	剖検率	17.7 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙参照				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 571

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に丸をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙参照			

計 576

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発および評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
成人の携帯電話使用者の追跡調査研究	武林亨	医学部基礎教室	8,000,000 円	補 委* (財)テレコム先端技術研究支援センター
転移・再発乳がんに対するタキサン系薬剤と ティーエスワンのランダム化比較試験	神野浩光	医学部臨床教室	200,000 円	補 委* (財)パブリックヘルスリサーチセンター
「ヒト血小板キメラNOGマウスモデルにおけるヒト 血小板変動評価系構築とNIP-022および P07320028の薬効評価試験」に関するコンサル ティング	宮川義隆	医学部臨床教室	1,890,000 円	補 委* (財)実験動物中央研究所
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管 合併症に関する調査研究—心筋梗塞、脳梗塞患 者などの動脈血栓性疾患を対象として—(略称: MAGIC研究)	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,050,140 円	補 委* (財)循環器病研究振興財団
急性期脳梗塞患者における抗血栓薬および脳保 護薬の併用療法に関する研究(EAST Study)	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,008,000 円	補 委* (財)循環器病研究振興財団
Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化 学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法 の第III相比較臨床試験および遺伝子発現に基 づく効果予測因子の探索的研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,155,000 円	補 委* (財)先端医療振興財団
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学 療法の検討	今西順久	医学部臨床教室	840,000 円	補 委* (財)先端医療振興財団
小児心電・心音図の基準値設定に関する研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	547,400 円	補 委* (財)東京都予防医学協会
J-RHYTHM II試験	佐藤俊明	医学部臨床教室	4,387,600 円	補 委* (財)日本心臓財団
生体内における酸素およびガス分子を介した代 謝ネットワークの解明による糖質・アミノ酸利用制 御機構の包括的理解	末松誠	医学部基礎教室	2,235,294 円	補 委* (財)糧食研究会
神経細胞死抑制因子を応用したアルツハイマー 病治療法の開発	松岡正明	医学部寄附講座	50,000,000 円	補 委* (独)医薬基盤研究所
サルおよびヒト胚性幹細胞を用いた心筋細胞の 再生と移植法の開発	福田恵一	医学部坂口光洋記念 講座	74,500,000 円	補 委* (独)医薬基盤研究所
新たなヒト悪性中皮腫浸潤増殖モデルの開発お よびヒト化CD26抗体による悪性中皮腫の新規治 療法の開発	山田健人	医学部基礎教室	20,780,000 円	補 委* (独)医薬基盤研究所
SOCS-mimeticsの開発と炎症性疾患治療への応 用	吉村昭彦	医学部基礎教室	29,000,000 円	補 委* (独)医薬基盤研究所
接着分子CD44の機能阻害の基づくがん浸潤・転 移抑制法の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科 学研究所	17,000,000 円	補 委* (独)医薬基盤研究所

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
ヒト再生医療分野における間葉系幹細胞の高感度かつ高純度な細胞分離技術の確立	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	999,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
RNAサイレンシングが司る遺伝子情報制御	塩見美喜子	医学部総合医科学研究センター	87,490,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
「骨代謝」における破骨細胞の細胞融合と代謝制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	27,820,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
造血幹細胞の代謝解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	13,000,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
代謝産物の変化情報に基づく心筋機能制御法の確立	佐野元昭	医学部坂口光洋記念講座	21,918,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
内在性神経幹細胞活性化による神経再生戦略—モデル生物系を用いた解析	岡野栄之	医学部基礎教室	75,673,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
BC-BOXペプチドによる体性幹細胞等からの神経分化誘導研究	工藤純	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
ファージ提示型ヒト単鎖抗体ライブラリーの作製と改良、抗ガングリオシド単鎖抗体のスクリーニング	高柳淳	医学部基礎教室	4,160,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
自然免疫反応におけるシェディングの役割と制御機構	岩男恭子	医学部基礎教室	6,370,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
新規早期肝がん関連分子をターゲットとした診断技術開発・実用化の検討	坂元亨宇	医学部基礎教室	1,630,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
T細胞分化のリプログラミング	吉村昭彦	医学部基礎教室	26,624,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
人工幹細胞を用いた分化制御異常解析と癌創薬研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究研究所	55,650,400 円	補 委* (独)科学技術振興機構
高機能性鉄磁性体微粒子を用いた乳癌に対する新しい、低侵襲・個別化診断・治療法の開発	上田政和	医学部臨床教室	22,000,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
骨関連手術支援システムとしての3D-GBSの開発	池上博泰	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
外傷性脊髄傷害における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	中村雅也	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置開発	青木大輔	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
到来方向測定による高感度ガンマ線3Dカメラの開発	久保敦司	医学部臨床教室	3,120,000 円	補 委* (独)科学技術振興機構
電子線等による膜タンパク質及びその複合体の構造解析技術の開発	安井正人	医学部基礎教室	15,750,000 円	補 委* (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
「担癌生体の免疫動態評価システム開発のための免疫抑制解除法」に関する調査	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	4,950,750 円	補 委* (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
幹細胞とがん幹細胞	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	26,400,000 円	補 委* (独)日本学術振興会
医歯薬学分野に関する学術動向の調査・研究	福田恵一	医学部坂口光洋記念講座	3,500,000 円	補 委* (独)日本学術振興会
iPS細胞研究国際拠点人材養成事業	岡野栄之	医学部基礎教室	3,631,200 円	補 委* (独)日本学術振興会
脆弱X症候群の遺伝的・生化学的機能解析	塩見春彦	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 委* (独)日本学術振興会
微生物学・免疫学分野に関する学術動向の調査・研究	小安重夫	医学部基礎教室	2,250,000 円	補 委* (独)日本学術振興会
糖タンパク質を含む複合糖鎖抗原に対する人工抗体の研究開発	高柳淳	医学部基礎教室	3,150,000 円	補 委* バイオテクノロジー開発技術研究組合
国際共同研究	石橋智昭	医学部基礎教室	4,500,000 円	補 委* ファイザーヘルスリサーチ振興財団
悪性脳腫瘍に対するアプタマー技術を用いた新しい診断法、治療法の開発	井上浩義	医学部(日吉)	0 円	補 委* 学校法人久留米大学
わが国における飲酒の実態ならびに飲酒に関連する生活習慣病、公衆衛生上の諸問題とその対策に関する総合的研究	石井裕正	医学部	16,200,000 円	補 委* 厚生労働省
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	梶村真弓	医学部	2,500,000 円	補 委* 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	平形道人	医学部医学教育統轄センター	1,800,000 円	補 委* 厚生労働省
医師主導型治験の実施に関する研究(タクロリムス)	平形道人	医学部医学教育統轄センター	2,500,000 円	補 委* 厚生労働省
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	平形道人	医学部医学教育統轄センター	2,000,000 円	補 委* 厚生労働省

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
漢方医学の証に関する分類の妥当性検討	渡辺賢治	医学部漢方医学センター	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
主観的個別化患者情報のデータマイニングによる漢方・鍼灸の新規エビデンス創出	渡辺賢治	医学部漢方医学センター	10,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎征圧	下遠野邦忠	医学部総合医科学研究センター	9,258,000 円	補 * 厚生労働省 委
規格化された高品質な成育バイオリソースと異種由来成分を排除した完全ヒト型培養システムの構築-再生医療・細胞治療の有効性、安全性の検証システムの標準化-	三好俊一郎	医学部寄附講座	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工赤血球のICU使用を目的とした最適化およびME技術の改良	富田裕	医学部寄附講座	2,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
在宅医療への遠隔医療実用実施手順の策定	本間聡起	医学部寄附講座	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
臓器特異的ストレス応答探索マウスを用いた疾病予防法の開発	佐野元昭	医学部坂口光洋記念講座	5,450,000 円	補 * 厚生労働省 委
プロスタグランジン-i2合成酵素遺伝子を用いた肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療法の開発	福田恵一	医学部坂口光洋記念講座	30,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
候補遺伝子DISC1の機能解析による統合失調症の病態理解と治療戦略の構築	久保健一郎	医学部基礎教室	4,463,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	鎌田徹治	医学部基礎教室	1,800,000 円	補 * 厚生労働省 委
筋萎縮性側索硬化症に対する肝細胞増殖因子を用いた画期的治療法の開発	岡野栄之	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究	岡野栄之	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎征圧	杉山和夫	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
赤血球・酸素輸液の有効利用を目的としたヒト組換え型アルブミン修飾剤の開発	末松誠	医学部基礎教室	11,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	工藤純	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
大都市圏脳卒中診療連携体制の構築-ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証	武林亨	医学部基礎教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
病院勤務医等の勤務環境改善に関する緊急研究	武林亨	医学部基礎教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
膝痛、腰痛、骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究	西脇祐司	医学部基礎教室	2,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
多施設臨床研究ネットワークの中核機能を担うリニカルリサーチセンターの整備	武林亨	医学部基礎教室	77,987,000 円	補 * 厚生労働省 委
未受診者対策を含めた健診・保健指導を用いた循環器疾患予防のための地域保健クリティカルパスの開発と実践に関する研究	西脇祐司	医学部基礎教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
加齢性難聴に対する地域介入プログラムの有効性評価	西脇祐司	医学部基礎教室	6,700,000 円	補 * 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する研究	武林亨	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
顧みられない病気に関する研究	小林正規	医学部基礎教室	4,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
慢性寄生虫感染症の侵入監視及びその健康管理体制の確立	竹内勤	医学部基礎教室	2,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
重篤な日和見感染症の「早期発見と最適治療」に関する研究	竹内勤	医学部基礎教室	2,200,000 円	補 * 厚生労働省 委
弱毒生ウイルスワクチン(痘そうワクチン)の疫学的有効性及び安全性評価における統計学的研究	齋藤智也	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
献血血の安全性確保と安定供給のための振興感染症等に対する検査・スクリーニング法等の開発と献血制限に関する研究	三浦左千夫	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
がん病理・病態学的特性の分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に関する研究	岡田保典	医学部基礎教室	6,300,000 円	補 * 厚生労働省 委
がん病理・病態学的特性の分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に関する研究	坂元亨字	医学部基礎教室	6,300,000 円	補 * 厚生労働省 委
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	坂元亨字	医学部基礎教室	7,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	小安重夫	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
アジア・太平洋地域におけるHIV・エイズの流行・対策状況と日本への波及に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	2,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
薬剤耐性HIVの動向把握のための検査方法・調査体制確立およびその対策に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
侵襲の運命決定因子HMGBIを分子標的とした救命的治療法の開発	石坂彰敏	医学部臨床教室	8,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
呼吸不全に関する調査研究	石坂彰敏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	浅野浩一郎	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
特発性心筋症に関する調査研究	小川聡	医学部臨床教室	1,100,000 円	補 * 厚生労働省 委
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	小川聡	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	日比紀文	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	日比紀文	医学部臨床教室	6,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補償による新規認知症治療法の開発	伊藤裕	医学部臨床教室	8,230,000 円	補 * 厚生労働省 委
MRIを用いた脳卒中発症・再発防止のためのより有効な降圧治療のエビデンスの創出	伊藤裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
免疫性神経疾患に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	900,000 円	補 * 厚生労働省 委
正常水頭症の疫学・病態と治療に関する研究班	鈴木則宏	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
ウイルス動脈輪閉塞症における病態・治療に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
難治性疾患の医療費構造に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
大都市圏脳卒中診療連携体制の構築—ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証	鈴木則宏	医学部臨床教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
特発性造血障害に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	池田康夫	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
ペーチェット病に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	横山健次	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発に関する研究	桑名正隆	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
同種末梢血管細胞移植を非血縁者間で行う場合等の医学、医療、社会的基盤に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQDLを視野に入れた成績の向上に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 * 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	池田康夫	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
難治性疾患克服研究の評価ならびに研究の方向性に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 * 厚生労働省 委
侵襲の運命決定因子HMGBIを分子標的とした救命的治療法の開発	北川雄光	医学部臨床教室	6,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床的リンパ節転移陰性胃癌に対するセンチネルリンパ節生検の安全性に関する多施設共同臨床試験	北川雄光	医学部臨床教室	3,375,000 円	補 * 厚生労働省 委

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	750,000 円	補 * 厚生労働省 委
悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
小児悪性固形腫瘍領域における体系的な臨床試験実施に基づく適応外医薬品の臨床導入の妥当性検討に関する研究	森川康英	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工酸素運搬体の臨床応用に関する研究	齋庭了	医学部臨床教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工酸素運搬体の臨床応用に関する研究	小林紘一	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工赤血球のICU使用を目的とした最適化およびME技術の改良	泉陽太郎	医学部臨床教室	2,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工酸素運搬体の臨床応用に関する研究	堀之内宏久	医学部臨床教室	6,650,000 円	補 * 厚生労働省 委
危機的出血に対する輸血ガイドライン導入による救命率変化および輸血ネットワークシステム構築に関する研究	津崎晃一	医学部臨床教室	200,000 円	補 * 厚生労働省 委
人工赤血球のICU使用を目的とした最適化およびME技術の改良	武田純三	医学部臨床教室	4,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
筋萎縮性側索硬化症に対する肝細胞増殖因子を用いた画期的治療法の開発	中村雅也	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	森岡秀夫	医学部臨床教室	750,000 円	補 * 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	松本守雄	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	千葉一裕	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	9,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立	千葉一裕	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立	戸山芳昭	医学部臨床教室	9,060,000 円	補 * 厚生労働省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良 その他有効性及び安全性確保のあり方に関する 研究	関口進一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
小児先天性疾患および難知性疾患における遺伝 子診断法の標準化と国内実施施設の整備	小崎健次郎	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
超少子化時代のわが国における新たな不妊症原 因の究明と社会に即した治療システムの開発	吉村泰典	医学部臨床教室	1,750,000 円	補 * 厚生労働省 委
女性生殖器における妊娠能の客観的な評価法の 確立	浜谷敏生	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
超少子化時代のわが国における新たな不妊症原 因の究明と社会に即した治療システムの開発	久慈直昭	医学部臨床教室	1,400,000 円	補 * 厚生労働省 委
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の 開発に関する研究	丸山哲夫	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 * 厚生労働省 委
生殖補助医療の医療技術の標準化、安全性の確 保と生殖補助医療により生まれた児の長期予後 の検証に関する研究	吉村泰典	医学部臨床教室	4,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
生殖補助医療の医療技術の標準化、安全性の確 保と生殖補助医療により生まれた児の長期予後 の検証に関する研究	久慈直昭	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
子宮体がんに対する標準的化学療法確立に 関する研究	進伸幸	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床研究の実施・成果の高品質化に必須なデー タマネジメント教育プログラムの開発および普及	青木大輔	医学部臨床教室	400,000 円	補 * 厚生労働省 委
子宮体がんに対する標準的化学療法確立に 関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	15,690,000 円	補 * 厚生労働省 委
標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に 関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最 小化に関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 * 厚生労働省 委
がん領域における薬剤のエビデンスの確立を日 的とした臨床研究	青木大輔	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
プール水泳後の洗眼が眼表面に与える影響及び その有効性に関する研究	加藤直子	医学部臨床教室	4,800,000 円	補 * 厚生労働省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
角膜上皮細胞の生体外での未分化能維持の研究	川北哲也	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	23,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
希少難知性皮膚疾患に対する調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	3,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	大家基嗣	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
急性高度軟調に関する調査研究	小川郁	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
認知神経科学的アプローチによる精神神経疾患に対する偏見の実態調査と偏見軽減に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	1,600,000 円	補 * 厚生労働省 委
スポーツ・運動の統合失調症の認知機能・高次脳機能障害に対する効果に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 厚生労働省 委
精神科薬物療法アルゴリズムの最適化と均てん化に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	10,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
分子イメージングによる精神科治療法の科学的評価法の確立に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	2,700,000 円	補 * 厚生労働省 委
定位放射線治療による予後改善に関する研究	久保教司	医学部臨床教室	548,000 円	補 * 厚生労働省 委
スモンに関する調査研究	里宇明元	医学部臨床教室	700,000 円	補 * 厚生労働省 委
緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
大都市圏脳卒中診療連携体制の構築ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証	里宇明元	医学部臨床教室	13,300,000 円	補 * 厚生労働省 委
試験問題プール制の推進等国家試験の改善に係る研究	相川直樹	医学部中央診療施設等	1,200,000 円	補 * 厚生労働省 委
新規に発生しているレンサ球菌による劇症型感染症の臨床的・細菌学的解析と、診断・治療に関する研究	藤島清太郎	医学部中央診療施設等	2,000,000 円	補 * 厚生労働省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
動作解析装置を用いた歩行傷害・ADL障害の解明に関する研究	松本秀男	医学部中央診療施設等	11,000,000 円	補 * 厚生労働省 委
血液凝固異常症に関する調査研究	村田満	医学部中央診療施設等	18,500,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	村田満	医学部中央診療施設等	1,600,000 円	補 * 厚生労働省 委
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	半田誠	医学部中央診療施設等	14,700,000 円	補 * 厚生労働省 委
院内血液製剤の適正な製造体制・順守規程に関する研究	半田誠	医学部中央診療施設等	600,000 円	補 * 厚生労働省 委
輸血副作用把握体制の確立・特に免疫学的副作用の実態把握とその対応	半田誠	医学部中央診療施設等	800,000 円	補 * 厚生労働省 委
超高齢者のQOLに寄与する要因の包括的検討と地域比較	新井康通	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 財)ユニバーサル財団 委
米国内臓病学会第62回高血圧学会	松下健一	医学部臨床教室	200,000 円	補 * 財)井上科学振興財団 委
中枢神経系における水制御の分子機構ーアクアポリンの細胞間接着能とアレイ構造形成に着目してー	安井正人	医学部基礎教室	8,500,000 円	補 * 財)三菱財団 委
“Gas Therapy”による虚血再還流傷害に対する新たな治療戦略の開発とメカニズム解明	林田健太郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 財)内藤記念科学振興財団 委
ES細胞およびiPS細胞を用いた心筋再生医療の確立	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 * 財)武田科学振興財団 委
免疫応答としての肝脂肪蓄積と代謝異常の解析	入江潤一郎	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 * 財)武田科学振興財団 委
発生期大脳皮質における神経細胞の成熟過程を制御する分子機構のin vivo解析	川内健史	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 * 財)武田科学振興財団 委
統合失調症候補遺伝子の機能解析	仲嶋一範	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 * 財)武田科学振興財団 委
成熟脳においてシナプス再構築を制御する新しい分子機構ー機能的神経再生に向けて	柚崎通介	医学部基礎教室	10,000,000 円	補 * 財)武田科学振興財団 委
研究助成	齋藤都暁	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 * 財)財団法人 細胞科学研究財団 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
長期派遣援助	升田博隆	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 財団法人 山田科学振興財団 委
研究奨励金(研究助成)	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	2,000,000 円	補 * 財団法人 上原記念生命科学財団 委
研究奨励金(研究助成)	宮下和季	医学部寄附講座	2,000,000 円	補 * 財団法人 上原記念生命科学財団 委
研究奨励金(研究助成)	川内健史	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 * 財団法人 上原記念生命科学財団 委
研究助成	中島秀明	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 * 財団法人 上原記念生命科学財団 委
研究助成	天谷雅行	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 * 財団法人 上原記念生命科学財団 委
留学助成	八木満	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 財団法人 中富健康科学振興財団 委
研究助成	中村俊康	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 * 財団法人 中富健康科学振興財団 委
留学助成	服部典子	医学部臨床教室	500,000 円	補 * 財団法人 中富健康科学振興財団 委
科学奨励金(研究助成)	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 * 財団法人 内藤記念科学振興財団 委
特定研究助成[Ⅱ]	釜谷陸生	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 * 財団法人 武田科学振興財団 委
学術研究助成	小川葉子	医学部臨床教室	300,000 円	補 * 社団法人 日本女医会 委
社会厚生事業助成制度(医学研究助成)	前倉敬子	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 * 千代田健康開発事業団 委
高齢者のストレス・ネットワークアクセスを実現する感覚運動オーグメンテーション技術の研究開発	里宇明元	医学部臨床教室	5,200,000 円	補 * 総務省 委 *
高齢者のストレス・ネットワークアクセスを実現する感覚運動オーグメンテーション技術の研究開発	里宇明元	医学部臨床教室	7,540,000 円	補 * 総務省 委 *
帰島後健康診断(呼吸器系)データ解析業務委託	大前和幸	医学部基礎教室	2,800,000 円	補 * 東京都三宅島三宅村 委 *

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT-11単独療法vsTS-1+CPT-11併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験—(臨床試験実施計画書No.	中村理恵子	医学部臨床教室	840,000 円	補 * 特定非営利活動法人 日本がん臨床試験推進機構 委 *
医学賞	日比紀文	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 * 日本医師会 委
医学研究助成費	丸山哲夫	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 * 日本医師会 委
生殖幹細胞におけるRNAサイレンシング機構の解析	堀見春彦	医学部基礎教室	3,976,000 円	補 * 日本私立学校振興・共済事業団 委
食品素材の胃病変軽減・予防作用に関する研究	鈴木秀和	医学部臨床教室	2,100,000 円	補 * 農林水産省 委
TACEの骨代謝, 炎症性疾患における機能解析	堀内圭輔	医学部	2,210,000 円	補 * 文部科学省 委
炎症性骨・軟骨破壊に対するMMPの役割	高石官成	医学部	2,210,000 円	補 * 文部科学省 委
変形性関節症の軟骨修復機転における血管内皮増殖因子の役割	榎本宏之	医学部	1,950,000 円	補 * 文部科学省 委
前立腺癌の血管新生におけるアンジオテンシンⅡの機能解析	官嶋哲	医学部	1,300,000 円	補 * 文部科学省 委
骨軟骨組織における神経反発因子セマフォリン3Aによる血管侵入の制御	藤田貴也	医学部	2,210,000 円	補 * 文部科学省 委
後天性多嚢胞化腎における腎細胞癌発生機構	大家基嗣	医学部	1,820,000 円	補 * 文部科学省 委
卵特異的新規遺伝子と「正常な卵」を規定する遺伝子ネットワーク	浜谷敏生	医学部	1,170,000 円	補 * 文部科学省 委
ヒト体外培養卵子・受精卵に発現する遺伝子プロファイル解析と不妊症診療への応用	久慈直昭	医学部	2,340,000 円	補 * 文部科学省 委
退行変性性腰痛症に対する新たな治療法開発に関する基礎的研究	千葉一裕	医学部	1,690,000 円	補 * 文部科学省 委
上皮性卵巣癌における間質-腫瘍相互作用の臨床的意義の解明	津田浩史	医学部	1,690,000 円	補 * 文部科学省 委
子宮体癌におけるDNAミスマッチ修復異常・腫瘍免疫と抗癌剤・ホルモン剤感受性	進伸幸	医学部	1,690,000 円	補 * 文部科学省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
子宮体癌の生物学的解析に基づく新規治療法の開発	藤田知信	医学部	1,690,000 円	補 * 文部科学省 委
網膜再生に向けた視細胞の分化調節機構の解析	小沢洋子	医学部	1,950,000 円	補 * 文部科学省 委
ルテインの網膜・脈絡膜血管病態への関与	石田晋	医学部	2,210,000 円	補 * 文部科学省 委
microRNAのエピジェネティック制御を介した胃がんの新規予防・治療法の開発	齋藤義正	医学部	1,820,000 円	補 * 文部科学省 委
定住ラテンアメリカ人のChagas病疫学調査と輸血感染予防対策	三浦左千夫	医学部	1,040,000 円	補 * 文部科学省 委
自己細胞由来の生理活性物質を利用した内在性神経幹細胞の活性化と神経再生誘導	並木淳	医学部	1,690,000 円	補 * 文部科学省 委
口腔胃相関からみた摂食早期の一酸化窒素介在型グレリン分泌機構	鈴木秀和	医学部	1,100,000 円	補 * 文部科学省 委
筋萎縮性側索硬化症発症要因としてのVAPBと小胞体ストレスの解析	松岡正明	医学部	1,600,000 円	補 * 文部科学省 委
認知症患者における後見制度鑑定に必要な臨床検査の検討、付随する制度的問題点の検討	大平雅之	医学部	100,000 円	補 * 文部科学省 委
抗癌剤感受性に関連するタンパク質(ペプチド)バイオマーカーの研究	鈴木小夜	医学部	1,300,000 円	補 * 文部科学省 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部	2,210,000 円	補 * 文部科学省 委
片頭痛におけるASICの役割—片頭痛動物モデルを用いた検討	清水利彦	医学部	1,430,000 円	補 * 文部科学省 委
AIRE発現細胞株を用いた自己抗原遺伝子の異所性発現の解析	山口良考	医学部	1,950,000 円	補 * 文部科学省 委
栄養疫学調査とデータマイニングによる遺伝子-環境相互作用の探索	宮木幸一	医学部	700,000 円	補 * 文部科学省 委
局所脳虚血後の梗塞巣拡大におけるERKシグナル伝達経路の関与の検討	冨田裕	医学部	1,950,000 円	補 * 文部科学省 委
膵β細胞におけるフォークヘッド転写因子の核内転写活性調節機構の解明	中江淳	医学部	2,340,000 円	補 * 文部科学省 委

16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。